

女性活躍推進人材育成事業【長崎県諫早市】

地域の実情と課題

- ・本市は、男性従業員の占める割合が高いとされる製造業、建設業に従事する従業員の割合が高く、労働力を確保していくためにも女性の活躍は喫緊の課題となっている。
- ・県内企業の、男性の育児休業取得率は、全国平均より低く、本市でも同様の傾向がうかがえ、家庭での役割分担などの協力体制の構築や、男性向けの啓発講座を実施し、男性の育児休業取得やワークライフバランス推進の施策が求められている。
- ・女性起業支援講座の受講者のうち、起業家として活躍しているのは約20%である。地域の魅力を引出し活用し、その個性と能力を生き生きと発揮し、社会に貢献できる後押しや事業の継続を支援する必要がある。

事業の特徴

- ・市民一人ひとりがワークライフバランスを理解し、自らのこととして考えるきっかけの場として支所地域の市民向けセミナーを開催し、女性活躍推進の理解を深めた。
- ・男性が子育てに参画することの大切さへの理解を促し、男性の育児時間の増加につなげ、男女の職業生活と家庭生活の円滑な両立の促進を図った。

事業の効果

- ・参加目標を大幅に上回る参加者数であり、参加者の2割が女性活躍推進を初めて知ったという人で、子育て世代の多くの人に、女性活躍の必要性について理解を促すことができた。
- ・男性参加者に行った後日のアンケートでは、「男性の育児時間が、受講前より増加した」と回答した人の割合が66%であり、目標は達成できた。

目的・目標

【目的】

- ・市民一人ひとりがワークライフバランスを理解し、行動するよう啓発を強化することにより女性の社会進出を促し、本市の女性の活躍を推進する。また、働く意志のある女性とその能力を発揮し、希望に応じた働き方ができるよう再就職を支援するとともに、起業を希望する女性の起業支援に加え、地域の魅力を活用した起業を行うことを考えるセミナーを実施し、女性の起業や創業について事業継続支援を行い本市の女性の就労を促進する。

【目標】

- ・市民向けセミナー参加者 100人
- ・女性活躍推進セミナー参加者 30人
- ・女性の再就職セミナー参加者 15人
- ・イクメンワークショップ受講者 15人

連携団体

支所地域PTA連絡会、子ども会連合会、諫早商工会議所、諫早市男女共同参画推進団体、諫早もりあげガールズ、保育会、PTA連合会、地域子育て支援センター、看護協会、ハローワーク等

今後の課題

- ・女性活躍には、男性の意識改革や固定的な社会通念や習慣の改善が必要。今後も支所地域の市民の意識改革をとおして、女性の社会進出や登用など、活躍推進につなげていく必要がある。
- ・男性が楽しみながら子育てや家事を行なうため、ワーク・ライフ・バランスや女性の活躍推進を後押しするための取組について多くの男性に認知してもらうため、男性が興味を示す内容や、親しみやすい周知方法を行う必要がある。

事業の概要

(1) 女性活躍推進セミナー

◇女性活躍を推進する上では、市民一人ひとりがワークライフバランスを理解することが必要である。自らのこととして考えるきっかけの場として、支所地域の市民を対象にセミナーを開催

- ・対象：一般市民
- ・開催日：平成31年1月29日
- ・講師：浦川 末子氏
- ・参加者：155人



(3) 女性の再就職セミナー

◇結婚・育児・介護などの事情により離職した女性に必要な知識・技能を習得するセミナーを開催
今後のキャリアプランを考え分析するプログラムを加え、ライフスタイルの変化に応じ、安心して再就職できるよう支援

- ・開催日：平成30年10月22日～12月15日(全6講座)
- ・講師：永田 あかね氏 / 清水 文隆氏(パソコン講座)
- ・内容：『やりたいことを地図にしよう』 『面接のコツ』
『家庭の協力を得るコツ』 『パソコン講座(5回)』
『両立しやすい家のシステムづくり』
『キャリアプラン分析ツール作成』



(2) 女性の起業支援セミナー

◇女性起業家や起業を希望する女性を対象に、地域を見据えた事業展開を可能にすることで、起業や創業後の事業継続につながるセミナーを開催

- ・対象：女性起業家等
- ・開催日：平成30年4月21日
- ・講師：足立 千佳子氏
- ・参加者：24人



(4) イクメンワークショップ

◇男性が子育てに参画することの大切さへの理解を促し、男性の育児時間の増加につなげ、男女の職業生活と家庭生活の円滑な両立を促進するため、精神科認定看護師によるワークショップを開催

- ・開催日：平成30年7月28日
- ・講師：精神科認定看護師 宮崎 大輔氏
- ・参加者：34人

